

①ストップウォッチ操作
通常時刻表示の状態では S1 を 3 回押してクロノグラフモードになり S3 を押してスタート/ストップができます。計測を終了した状態で S2 を押すとリセットされます。S1 を押すと通常時刻表示に戻ります。
ストップウォッチ作動中に S1 を押すと、通常時刻表示に戻ります。この間も、計測は継続しています。
また、計測中に他のモードに切替えてボタン操作を行っても計測は継続します。

②スプリットタイム操作
ストップウォッチ計測中に S2 を押してスプリットタイム（途中経過時間）を表示します。
その間もストップウォッチは計測されています。S2 を押すと計測中の表示に戻ります。
S3 を押すと計測を終了し S2 を押すとリセットされます。S1 を押すと通常時刻表示に戻ります。

アラーム／スヌーズ機能の設定

設定した時刻にアラームが鳴ります。＊アラームは約 30 秒間鳴ります。

アラーム時刻の設定

アラームモード表示の状態 で S2 を約 2 秒間押すと、時表示が点滅します。
S2 を押すことに下記の順で点滅が切替わり、S3 で時間を設定してください。

時 → 分 → 終了 ＊S3 を長押しすると数字が早送りできます。

S1 を押すと設定を終了します。

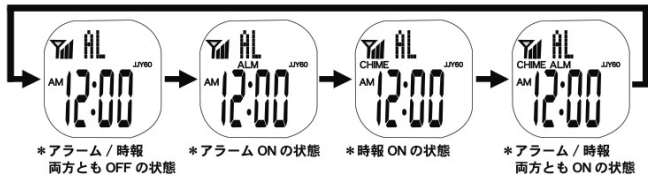
＊設定途中で 30 秒間何も操作しなければその時点までの設定記録で自動的に設定を終了します。

アラームの ON/OFF 設定と時報 (チャイム音) の ON/OFF 設定

アラームモード表示の状態 で S3 を押して設定をします。

S3 を押すことに下記の順で表示がです。

アラーム ON のアイコン：ALM
時報 ON のアイコン：CHIME



＊アラームが ON に設定されている場合は、毎日設定時刻にアラーム音が作動します。
＊アラームまたは時報の設定が ON になっている時には、通常時刻表示にも **ALM CHIME** 表示が出ます。
＊アラームまたは時報を解除するときは、アラームモードで上記の表示にしたがひ設定を OFF にしてください。

スヌーズ機能の操作

＊アラーム音が作動中に S1、S2、S3 のいずれかのボタンを押すとスヌーズ機能が作動し、5 分後に再度アラーム音が鳴ります。
＊スヌーズ機能が作動中は、**ALM** 表示が点滅しています。
＊アラーム音をボタン操作で止める度、スヌーズ機能が継続し 5 分後にアラーム音が鳴ります。
＊アラーム音をボタン操作で止めなければスヌーズは解除されます。
＊スヌーズ機能を解除するときは、アラームモードでアラームを OFF にしてください。

リチウム電池の交換 / 電池寿命について

本製品にはリチウム電池 (CR2025) を使用しております。電池交換の際は同等規格のものをご使用下さい。
電池寿命は新品電池を組み込み後、通常使用で約 2 年です。
(通常使用：EL ライト / 1 日 1 回、アラーム / 1 日 1 回、電波受信 / 1 日 1 回)
注意：ソーラー電力を全く使用しない場合での電池寿命です。

通常使用でソーラー発電を 1 日 / 12 時間駆動した場合の電池寿命：約 4 年

各種の機能を多用すると電気を必要以上に消耗することとなります。
その場合は、規格の電池寿命に満たない内に容量が切れる場合があります。

＊本体の内蔵電池は、工場出荷時に機械・性能を検査するためのモニター電池です。
モニター電池は新品電池を使用しておりますが、お買上げ後、表示の電池寿命に満たないうちに電池容量が切れることがあります。なお、保証期間内であっても電池交換は有料となります。
＊裏ぶたをご自分で開けると故障の原因となります。電池交換はお近くの時計店または当社サービスセンターで行うことをお勧めします。
＊受信時に多量の電池を消耗しますので、ご使用されない場合には電波自動受信の機能を [OFF] に設定することをお薦めします。自動受信機能を停止しておくことで、電池消耗を抑えることができます。

日本標準時 時刻電波について

時刻電波とは、福島県のおおたかどや山標準電波送信所(東日本局)と佐賀県のはがね山標準電波送信所(西日本局)から送信される正確な時刻情報(日本標準時)をのせた長波時刻電波のことです。
好条件のもとでは、1,000km離れた場所でも受信可能となっています。

正確な時刻情報をのせた標準電波は独立行政法人 情報通信研究機構 NICT が運用しております。
この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業などの関係で、一時的に送信が中断されることがあります。(送信が中断されている間は電波の受信はできません)

＊詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。
<http://jjy.nict.go.jp/>
＊ホームページのアドレスは変更になる場合があります。

電波時計とは正確な時刻情報をのせた標準電波を受信した時、内部回路で時刻電波を解析することにより、時刻表示を自動修正表示する時計です。通常時や電波の受信/時刻修正が出来ない場合でもクォーツ時計の精度で動作しています。

※ ただし、気象や大気の状態、
地形や時間帯、時計の置かれ
ている建物の素材、周辺での
ノイズの発生等により、受信
能力が制限されることがあります。

